

# 弊社「伯林版」の發行に對し 獨逸碩學より讚辭頻りに到る

## 伯林日本醫師會の機關たると同時に 日獨學界の親善に多大の貢獻あらん

弊社に於ては數年來獨逸伯林に中西賢三氏を特派し、同地の狀況は常に中西の權大の筆に依りて弊誌に報道せられ、一異彩を放ちつゝあることは、讀者各位の夙に諒知せらるゝ處と信するが、昨年九月には、同氏の活動に依りて復興記念號として

▼獨逸碩學大家の日本並に日本人に對する感想文を蒐集し、之を和獨兩文を以て掲載したところ、幸ひにして我國醫事雜誌界空前の試みとして、非常なる歡迎を博したのであつた。爾來、中西氏は伯林日本醫師會(十日醫會)常任事務取扱として

### カイヤゼリング氏 の短 文は別項記載の通であるが、左 に更にグリースバーハ氏の寄 書を譯出紹介する。

#### グリースバーハ氏

貴社よりの御手紙並に、之れ迄に御發行になつた伯林の日本醫師會の機關誌を御惠送下され、ありがたく御禮申上げる。尙理論及實際の兩醫學の範圍に於て、日本人の研究者及著作には、常に興味を持つてゐたのであるが、此處に今更ながら此の興味を一層喚起した、さうして、私が會長であつた、學校衛生英國會議以來、坂木安三郎博士文

### 伯林より一筆啓上仕候

在伯林 谷 生

小生は去る十月十五日を以て、ゲルムのヘルトマン先生の所を辭し、唯今は全く浪人生活を致し居り、近々中に伊太利、ウキーン方面へ旅行に立つ考にて、生憎、オーストリー國は、全國の鐵道ストライキにて全然入國すること不可能に候由。それも數日中に解決の見込の由にて、それを待ち居る次第に候。

### 伯林日本醫師會の機關

として關係記事を登載するの外、獨逸碩學の執筆、祖國(日本)の報道、會員の旅行記等、各種の記事を滿載し、一面に於て日獨學界の親善に貢獻すること、

部省の三島醫學博士との間に結んだ科學的並に厚宜的關係も想ひ起すに至つた。

上記兩氏は第一回會議の節、宮入博士と共に日本政府の代表として臨席された。さうして世界戰爭の勃發に至る迄は倫敦のサー、ローダー、グラントン、バリのアルベルト、マチュー、及ヨハネ、クリスチヤニと共同して、仲々立派な國際年鑑九卷を發行した。然るに獨逸を敵視する外交政策の爲に起つた世界戰爭に因つて、獨逸及他國の學者間の交通として、國際的性質を有する此の學問も、遂に餘波を受け損害を蒙つた。尙又科學的國際團體、或は其の大會、或は又委員會など云ふものも、政治的紛争の爲に破壊の餘儀なきに至つた。自分の思ふには、斯る事情の下に醫學は最も損害を受けたものであり、又今も尙受けてゐる。

何故か云ふのに、醫學の求むる所のものは、あらゆる科學の中で最も人道的のものたらんとするにあつて、正當である事は明白である。然も醫學は人類の共同の力に依つて其の職責を盡すからである。

醫學の代表者等に依つて、近く再度國際團體を作られん事を切望す。

### ナインの返事は、今日に到るも遂に來らず。數日前、旅費到着致し候間、愈歸朝と決心致し、左の日程にて日本迄の通符を買ひ申し候。其價八十六ポンド(二月十日)に候。

十二月廿一日 ハムブルグ發  
一月十日 ニューヨーク着  
以上、獨逸船 Hamburg America-line  
二月七日 桑港發  
二月廿三日 橫濱着 Pacific mail  
以上、美國船 Comp. J. President Tait

獨逸を大晦日に出来るのは、大分あはたしき様に候へども、獨逸の總勘定を大晦日に切を付けると思へば甚だ愉快に候。米國の滞在は四週間、日本着は二月廿三日に候。太平洋を米國船に致し候譯は東洋汽船の数は目下非常に少なく、一月十

元來醫學及此の種團體は政治とは關係はない。さうして世界大戰に責任を負へる國々が國際聯盟に對しても責任を自覺するに至つた後、即ち國際聯盟が戰爭の勃發を防ぎ、或は科學的國際努力を破壊する事なきに至らば、此の種團體は此の聯盟の御蔭に依り益々強られ固なものになり得るものである。

惜而獨逸國內に於て、日本醫師會の創立された事や、此の醫會が機關誌として獨逸語の日本醫學新報を出さるゝ事は、科學的並に厚宜的關係を結ぶに於て貴社は大貢獻の一つをなして居るのである。

自分は非常なる悦を以て此の雜誌の繁榮を祝福する。

貴誌の創意は科學的國際的性質を認め、而も此の特質を眞實に現出し、さうして一方、日本及び獨逸の醫學者間に於ける分科科學上の問題に關して意見の直接交換を促進するものなる故に貴誌は益々繁榮する。さうして貴誌に對して何か寄書をしてくれよとの御望に對しては快諾致しました。

### 題目及其の範圍に關しては次に御報知します。(終り)

五日及二月廿六日に桑港を出帆する事になり居り、小生の希望に副ふ様な二月初旬の船は之れ無く、又日本郵船のシャトル航路は、二等の航海にはは掛れ甚しく困るとの事に候故、且此航路はハワイ(寄港せざる不便もあり、以上の都合にて、日本船は止められし、同時に歸航の割引もワイになり候ひし)米國船を探りたる次第に候。且米國船の桑港出帆は二月七日にて恰度、小生の誕生日に當り、又船中にて英語を話せる機會も多かるべし、此等の都合にて並びにやましかる今日、懇々米國船に乗込む都合に致し候。

米國巡遊の予定は當地にても、色々承はり小生一人にて考居り候も、若し日數が間に合ひ申し候はば、紐育日本領事館留置きにて、米國一ヶ月巡遊の先生のプランを頂戴致したく存じ居り候。且ロツ

豫防治療販賣認可  
内務省に於ては北里研究所より豫ねて販賣出願中なりし、チクス菌、バラチクス菌、混合感作ワクチン」は客月七日を以て製

細菌學的豫防治療法品として製造販賣を認可された。従つて、山田衛生局長の名を以て其旨各府縣知事宛通牒を發した。

◎九大醫學部海外視察者  
九大醫學部教授中より、大正十三年海外視察をすべきものは、榎、石阪の二氏であつたが、都合上延期され、之に代り旭、久保の二教授が出發せられた。次に本年出發せらるゝは、客年出張延期となりし石阪教授と、今一人は田原教授の模様で、近く決定を見るべしと。

クフエラー研究所は仲々參觀せむ由聞き及び候間若し先生の紹介状にて買へればさ考へ居り候。

小生は歐洲の旅行も常に一人にてなし遂げ候ひしが、今度の米國經由の旅行も船が上述の通りにて候間恐らくは一人旅ならんかと存じられ候も、何かと便宜を得て安上りに一月月暮せる方法を望み居る次第に候。

中村及横田兩氏及び内田氏と共に、尙コソホ研究所に通ひ居られ候。三氏共至極健全に候。小生の残りの論文は十二月中に發表になるかと存じ居り候。